

## 『新鷹の台第一防災会』合同新規発足に当たってごあいさつ

新鷹の台第一防災会

会長 上原和彦（第11班）



従来のA防災会とB防災会を合同した「**新鷹の台第一防災会**」としてこの4月からスタートしました。

自治会の最新の世帯数調査のデータによる最大数を採れば、当防災会の守備範囲は、**365世帯 800名**ほどの大きな規模となります。

しかしながら、当防災会は、大地震のニュースに出てくる被害に遭わなかった地域からの専門的な救助隊ではなく、近隣の被災者どうしの中での助け合い組織であります。

ですから10組あります**班単位での隣近所の助け合い**が活動の基本となります。

更に被害を最小限に留める為の**家屋やブロック塀などの事前の耐震性強化**も必要です。

最近世界のあちこちで大地震が頻発しております。

これらのニュースに接するたびに、寝る場所はここで良いか、水と食料は3日分何処に在ったっけ、避難する時に着る防寒着や雨合羽(着の身着のままなので濡れただけでも致命傷になったりします)は、すぐ近くにあるか等を繰り返しチェックしてください。

平常時には上記のような啓蒙活動のほか、ロープの結び方や縄ばしごの使い方なども含めて**楽しく活動**して行きますので、会員皆さまのご協力・ご参加をよろしく願います。